



社会福祉法人  
あおば厚生福祉会  
Aoba Welfare

令和4年度事業報告書

# 目 次

## 介護事業部事業報告

### 【特別養護老人ホーム茂庭台あおばの杜】

- I. 当年度の主な活動 . . . . . P1
- II. 年間各種活動報告 . . . . . P15

## 保育事業部事業報告

### 【富沢みなみ保育園】

- I. 実施状況 . . . . . P19
- II. 施設運営管理 . . . . . P21

### 【鹿野なないろ保育園】

- I. 実施状況 . . . . . P28
- II. 施設運営管理 . . . . . P30

### 【榴岡なないろ保育園】

- I. 実施状況 . . . . . P36
- II. 施設運営管理 . . . . . P39

# 介護事業部事業報告

## 【特別養護老人ホーム茂庭台あおばの杜】

### I. 当年度の主な活動

---

#### i 介護課

##### 【今期の目標と趣旨】

一人一人の要介護の心身の状況を踏まえて、利用者の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援します。利用者の身体状況の把握や、より良い生活支援のために多職種との連携を図り、安心・安全なサービス提供に努める事を目標とします。

##### 【方針】

- (1) 「笑顔」を大切にしながら関わりを持ち、日々安心して生活を送って頂けるようサービスを提供する。
- (2) 利用者のその人らしい生活を送り最期を迎えられるように、利用者の生活歴やご家族のニーズをケアに活かす。
- (3) ケアの提供を通じ職員が仕事に喜びとやりがいを感じられるようにする。
- (4) 職員の専門性の向上、常に細やかな配慮の意識、チームワークケアの強化を図る。
- (5) 利用者やご家族の意向に沿った環境整備や、事故防止対策を行い、安心した生活環境を提供する。

##### 【令和4年度実施報告】

一人一人の要介護の心身の状況を踏まえて、利用者の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援する重点目標に対して、職員一人一人が利用者の状態を観察・考察し、ユニットミーティングや他部署との連携を取り支援を行うことが出来ました。また、ユニット内で検討を行うことで、職員同士の意見交換等を行うことで職員個々のスキルアップへと繋がりケアの質も向上いたしました。

今年度は外部研修への参加も重点を置き、職員のスキルアップに努めました。コロナ禍ということもあり開催される研修件数も減少傾向ではありましたが、スキルアップを図るため多くのオンライン研修に参加致しました。外部研修に参加することで知識の習得、技術の向上を図り、伝達研修等を通して参加職員だけではなく、施設内職員にも知識・技術の向上が出来ました。

「事故防止対策」として事故への意識付けを強化したことにより、少なかったヒヤリハットの件数が増加し、事故件数の減少が見られています。取り組み時は事故の件数が多く見られていましたが、ヒヤリハットの項目設定や記載方法を見直し、環境を整えた事で一人一人がヒヤリハットへの意識を高く持ち施設全体で取り組むことが出来ました。事故発生後は速やかにすべての事故に対してカンファレンスを行い、小さな事故でもミニカンファレンスをユニット内職員にて実施し事故対策に努めました。ミニカンファレンスを実施することで職員の考察能力の向上に繋がりました。

令和3年度より、排泄支援の質の向上・褥瘡予防・コスト削減等の観点から、オムツ業者を白十字に変更しておりますが、当年度もオムツの選定、オムツ交換時間の検討をユニット単位で行うことによって、時間の有効活用することができ皮膚トラブルも減少しております。オムツ交換時間を検討し実施することで、交換回数の減少、利用者の睡眠時間の確保、交換回数が増加したことで利用者との関わりの時間の増加に繋がっていくことが出来ております。また、オムツ・パット類の使用率や発注環境の見直しを随時行い、コスト削減を意識し取り組んでおります。その他、白十字のオムツ研修も取り入れることで、オムツへの理解、介護技術の向上、パット類の見直し、交換回数を見直しを職員一人一人が意識したことで利用者へのケアの見直しができ、排泄ケアへの意識向上致しました。

感染対策については、各階にて新型コロナウイルス感染症が発生し、職員・利用者共に感染し、クラスターが発生しました。事前に新型コロナウイルス感染症発生模擬訓練を実施したことで、スムーズに感染対策を実施することができ、発生を最小限に留めることが出来ました。感染症による欠員が発生した際は各階からの協力体制を実施し、業務整理、各課の協力を得て滞りなくケアを実施することが出来ました。また、感染症が施設内で発生した事で職員の感染対策の意識が更に向上致しました。今後も各職員が感染症の発生を意識し、今回経験したことを活かし感染症発生模擬訓練、感染対策の徹底を継続して実施して参ります。

介護課で行うレクリエーションや機能訓練については、日々の生活の中で口腔体操や軽体操の実施を継続し残存能力の活用や維持を目的として、利用者が楽しみながら参加できるよう昨年度同様取り組んでおります。その他、コロナ禍ではありましたが各ユニットで工夫し季節を感じることができる装飾やイベントレクリエーション等も実施し、利用者の楽しみや笑顔を引き出す取り組みを行いました。

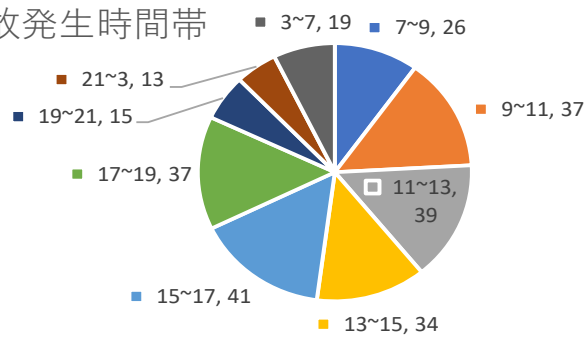
コロナ禍のご家族との情報共有の取り組みとして、利用者の生活の様子をお伝えするお手紙の作成を継続し、ご家族へ郵送を実施致しました。その他、ホームページのブログ内で生活の様子やレクリエーションの様子を掲載し、ご家族に少しでも生活の様子が伝わるよう取り組みを行っております。

### 事故・ヒヤリ分析図

### 令和4年度集計(令和4年4月～令和5年3月)

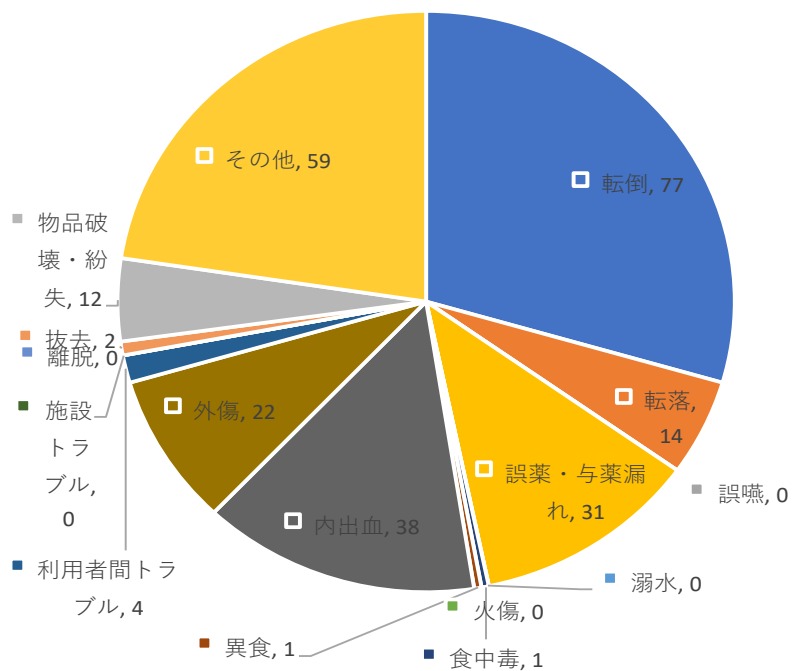
時間	件数
7~9	26
9~11	37
11~13	39
13~15	34
15~17	41
17~19	37
19~21	15
21~3	13
3~7	19

事故発生時間帯



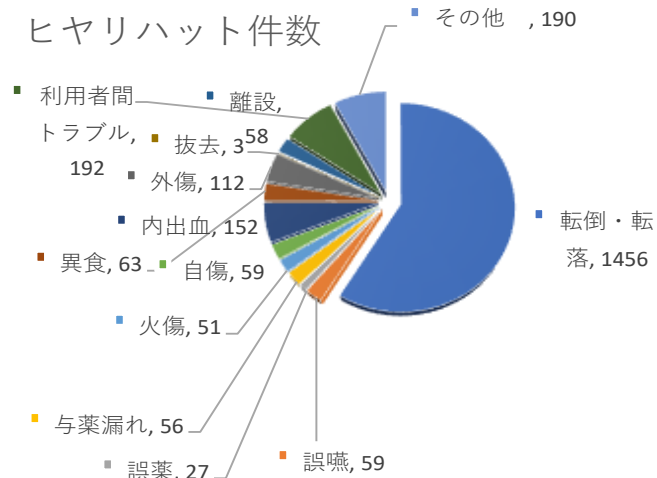
事故種別	件数
転倒	77
転落	14
誤嚥	0
誤薬・与薬漏れ	31
溺水	0
火傷	0
食中毒	1
異食	1
内出血	38
外傷	22
利用者間トラブル	4
施設トラブル	0
離脱	0
抜去	2
物品破壊・紛失	12
その他	59
合計	261

事故件数



ヒヤリ種別	件数
転倒・転落	1456
誤嚥	59
誤薬	27
与薬漏れ	56
火傷	51
自傷	59
内出血	152
異食	63
外傷	112
抜去	3
離脱	58
利用者間トラブル	192
その他	190
合計	2478

ヒヤリハット件数



## ii 看護課

### 【今期の目標と趣旨】

看護課は施設重点目標に掲げる「理念の実践」「感染・災害時のBCP策定と訓練」を大きな課題とし、利用者一人一人の意思及び尊厳を尊重し、安心・安全に日常生活を営むことが出来るように援助していきます。感染予防の取り組みでは職員へ指導・周知の実施を強化し施設内感染予防に努めます。また、利用者の医療ニーズに対応し、医師の指導のもと医療事故防止に努める取り組みを行っていきます。

### 【方針】

- (1) 感染症対策を研鑽し、利用者が安心・安全に過ごされる様、専門的知識を基本とし、質の向上に努める。
- (2) 医療ケアを必要とされる方のニーズに合わせ、医療機関との連携を図り、個々に合ったケアを行う。
- (3) 医療事故防止を目的とし業務効率化と統一を図る。
- (4) 利用者やご家族が納得できる看取りケアを実践する為、医師や多職種と連携を図り質の向上に努める。
- (5) どのような身体状況であっても、生活の喜びや楽しみを感じて頂ける様なケアに努める。
- (6) 利用者の健康状態把握と情報管理、担当者会議へ参加し医療的観点からの助言・指導に努める。

### 【令和4年度実施報告】

新型コロナウイルス感染症に対し考察し、施設内感染予防の為、環境、職員指導に努め感染対策を実施しました。事業継続計画書を元に、感染発生時の利用者の健康管理・精神面のケアについても知識を高め部署ミーティングで話し合いました。医療ケアや感染発生時の使用物品の備えも行いました。

また、日常生活を健やかに営むことができるよう日々利用者の健康状態を把握し、カンファレンスでは看護の視点から小さな体調変化にも気づきを持ち、多職種間での情報共有、ケアプランに沿った施設看護を行いました。年々高まる医療依存度の高い疾患、看取り、感染症、褥瘡等についても研鑽し質の向上に努めました。

### 【概要】

#### 1 健康管理

多職種と連携し日々の利用者の身体状況を把握し、体調変化時は迅速に嘱託医への報告、医療的助言を受け対応を行いました。

## 2 医療処置

健康診断の受検をはじめ、定期的な通院、検査等嘱託医の指導の下実施しました。流行性の感染症に対し予防接種等の実施についても迅速に実施しています。

医療度の高い利用者への対応では、人工肛門、中心静脈管理、痰吸引や経管栄養、点滴、インスリン、留置カテーテル管理をはじめ、麻薬管理等も行い個々のニーズに合わせた対応を行いました。利用者の健康状態を把握しご家族へ情報提供と意向を伺いながら、施設とご家族が協力してケアが提供できるように努めました。

看取り期のケアにおいてはご本人やご家族の意向を受け入れ、個々のニーズを尊重しながら対応を行いました。

## 3 ご家族との連携

利用者の健康状態を把握しご家族へ情報提供と意向を伺いながら、家族との関わりの時間、医療ケア等、施設とご家族が協力してケアが提供できるように努めました。

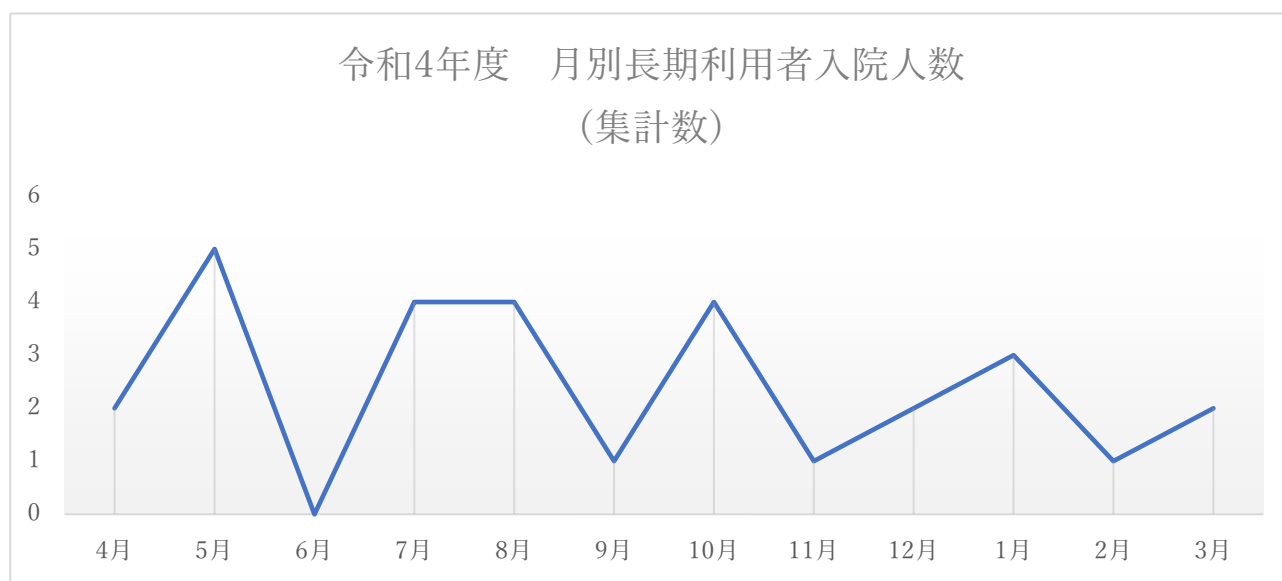
## 4 その他

入職者をはじめ職員対象に、感染対策の指導、血圧測定、口腔ケアを含む口腔内吸引・酸素吸入管理、呼吸器管理、急変時の対応について指導を実施しました。

また、機能訓練指導員と協力し利用者の身体機能維持、福祉用具の適正にも助言、指導を行いました。

## 5 入院に関する状況（入院時の疾患名）

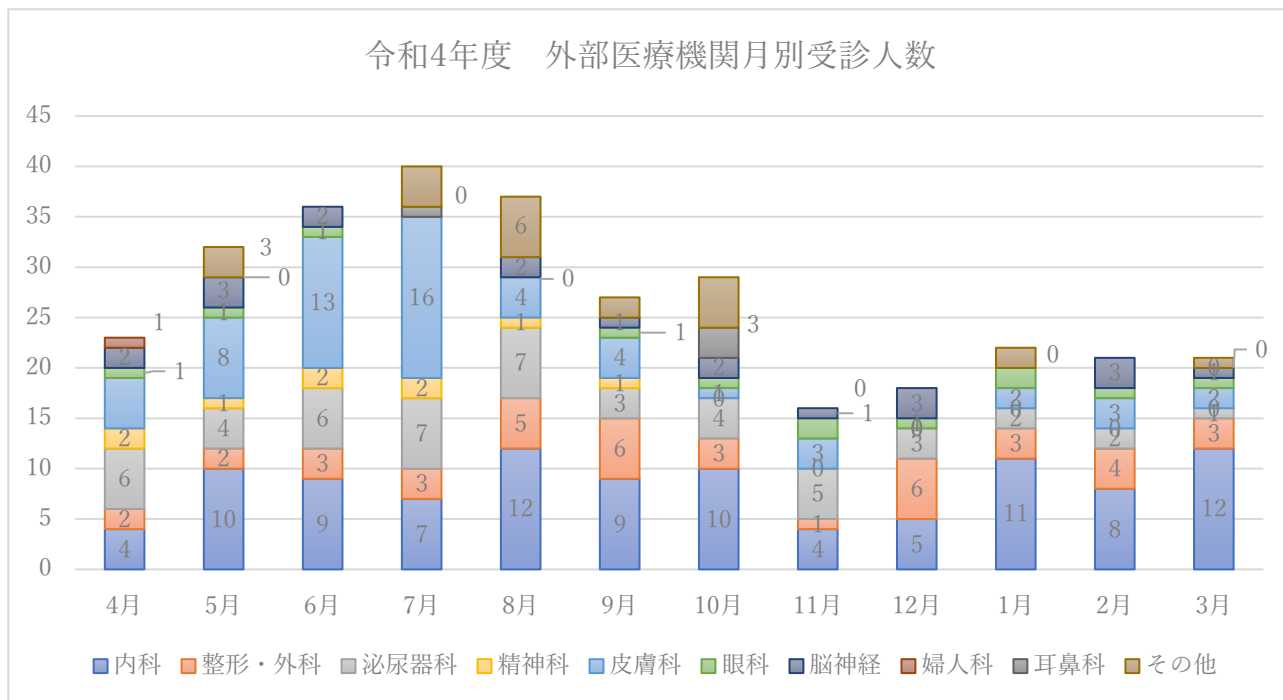
心不全、狭心症、腎性貧血、心筋炎、丹毒、脳梗塞、脳梗塞、甲状腺機能亢進症、尿路感染症、ダンピング症候群、膀胱癌、大腸癌、慢性腎不全、逆流性食道炎、誤嚥性肺炎、蜂窩織炎等の診断を受けております。



※年間通しての長期利用者の状態観察、施設内環境調整に努める必要性を感じます。

## 6 受診に関する状況（今期受診病院）

イムス明理会仙台総合病院、中嶋病院、仙台厚生病院、仙台市立病院、長町病院、JCHO仙台病院、仙台徳洲会病院、東北大学病院、東北労災病院、広南病院、仙台オープン病院、仙台赤十字病院、総合南東北病院、東北医科薬科大学病院、仙台医療センター、おおなみ皮フ科、しまむら整形、南吉成耳鼻咽喉科、愛子眼科、JCHO仙台南病院、富沢病院、せせらぎクリニック、西多賀病院



(他科：婦人科・肛門科・胃瘻交換・ペースメーカー点検等)

※グラフの主な疾患内容は、内科的には嚥下状態の低下等が原因となる誤嚥性肺炎、腎機能低下に伴う尿路感染症、外科・整形外科的には骨粗鬆症が要因となった疾患、皮膚科的には皮膚乾燥による合併症、脳外科的には下肢機能低下等による転倒時、頭部打撲があった場合の検査、眼科的には目の機能低下や循環障害による合併症等がみられました。各診療科において高齢者特有の機能低下による諸症状が多く、データをもとにこれらの疾病等への予防対策に努めていきます。

## 7 感染BCPの作成（感染症発生時の事業継続計画）

新型コロナウイルス感染症や様々な感染症が施設内で蔓延した際に、施設サービスが継続的に行えるよう、看護課を中心として感染BCP・マニュアルの作成・見直しを実施しました。看護課として積極的に感染症についての研修に参加するだけでなく、感染症の予防対策、感染経路の追跡、感染症発生時のゾーニング、感染防止アイテムの使用方法的の周知、医療材料等の備蓄について日々準備を行っております。また、今期は感染症の発生を想定した施設内訓練を実施し、出勤から勤務、退勤するまでの一連の流れで学ぶことができるよう連続した日程で行いました。感染BCPの作成・更新と併せて、施設職員を対象とした毎日の健康チェックと必要時の抗原検査を推進しております。職員の体調管理を行う事で、安心安全な施設サービスが提供できるよう今後も継続して実施して参ります。



### iii 機能訓練課

#### 【今期の目標と趣旨】

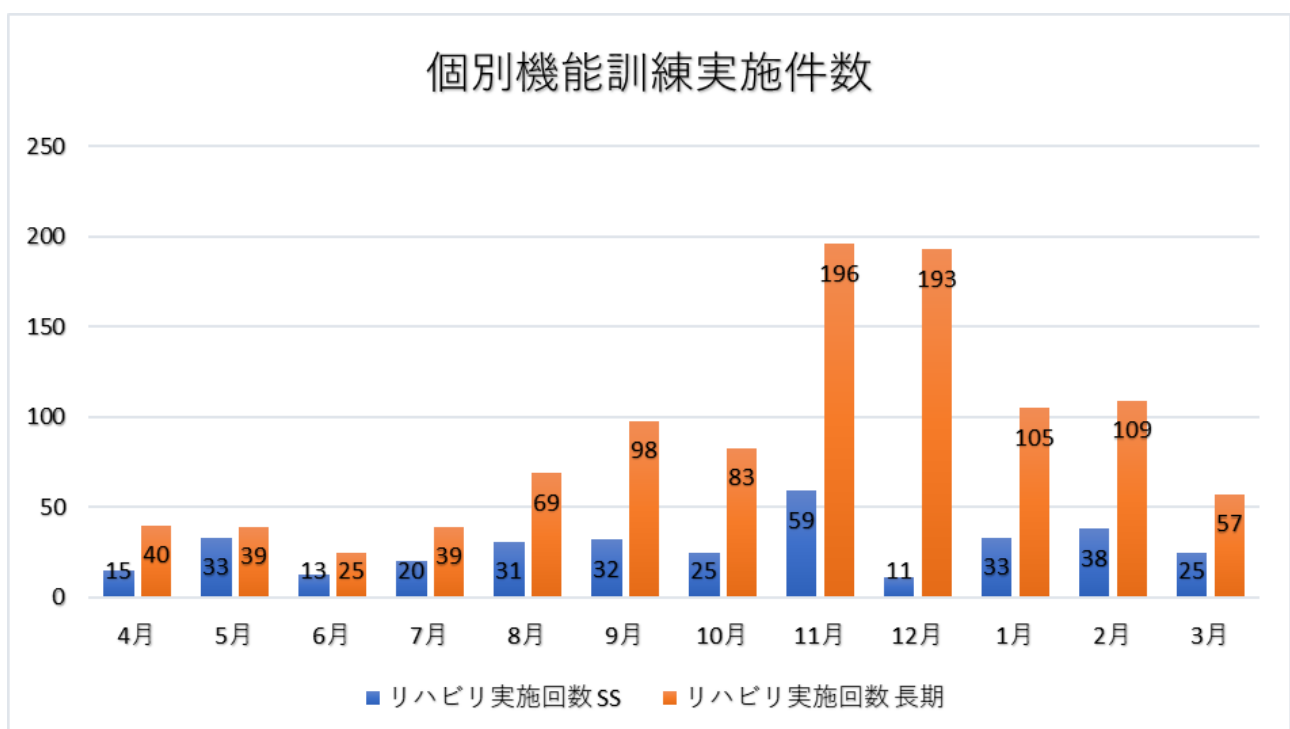
日々、利用者が安心・安全な日常を送れるように環境面の整備を行い、利用者の身体状況や精神状態の把握に努め、必要に応じた機能訓練を実施し、身体機能の維持・向上を心がけていきます。また、日々の機能訓練実施に向け介護職員へ指導や助言、実施内容について口頭指導以外にも伝達研修を開催し現場内での機能訓練実施を定着化させて、ヒヤリ、事故を未然に防げるように取り組んで参ります。

- (1) 利用者の心身機能の維持を目標とし、専門的訓練以外にも日々の暮らしの中で行える訓練、リハビリやレクリエーションに取り組みアクティビティを維持する。
- (2) 利用者の目線で物事を捉え、日常生活動作の遂行能力、身体機能を把握する。
- (3) 多職種間で利用者の情報共有を行い、利用者のもつ残存機能を最大限に発揮できるように取り組む。
- (4) 利用者の生活背景以外にもご家族の意向を参考に機能訓練計画を立案して、多職種と連携し能力の維持、向上に努める。

#### 【令和4年度実施報告】

##### (1) 長期入所、短期入所の小集団機能訓練

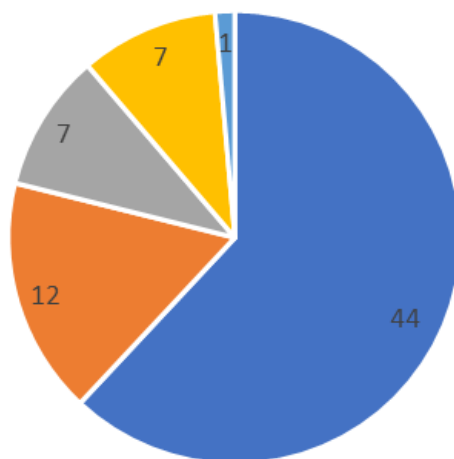
コロナ禍という状況を踏まえ、ユニット全体ではなく数名の小集団やソーシャルディスタンスに配慮した配置で実施し利用者の身体機能維持に努めました。外出やご家族との面会に制限を掛けなければいけない状況下もあり、介入頻度を増やし不安を減少、楽しみとなるよう内容の検討と実施に努めました。また、利用者の事故防止への意識を高め、生活環境で事故を未然に予防することを意識し、生活動線の見直しも行い他部署と連携を図りました。



## (2) 施策と実施状況について

- ◎加齢等による機能低下を防ぐ為の定期的な軽体操やレクリエーションは日常生活の中で浸透してきております。利用者の生活リズム、個々の状態にあった内容で、感染症の終息後は今まで以上にユニット内で行なえるようなプログラム作成や指導を検討し取り組みました。
- ◎利用者の性格・既往歴などを十分に把握した上で無理のない訓練と生活支援を提供しました。日常生活内での転倒による一時的な身体機能低下や日々の経過から機能低下がみられる利用者の福祉用具（車椅子）の見直しについても他職種と連携し対応することが出来ました。
- ◎福祉用具（車椅子）の種類も増やし、医療依存度の高い利用者や疾患により身体状況が重度化した利用者へ柔軟な対応をすることが出来ました。
- ◎施設全体での感染予防対策による入室制限等にて、積極的な個別機能訓練の実施が難しくなっております。そのため、利用者の生活リズムや個々の身体状況に合わせての生活リハビリを実施することがより一層必要になっております。集団の体操だけでなく、運動を取り入れたレクリエーションも積極的に取り入れ、介護職員へ機能訓練の必要性の周知と指導を行い、日常生活に直結した運動プログラムの作成を実施しました。

### 年間福祉用具使用状況



■ 標準型車椅子 ■ ティルトリクライニング ■ フルリクライニング ■ 歩行器/歩行車 ■ 杖

## iv 栄養課

### 【今期の目標と趣旨】

施設重点目標とする「適正な栄養管理」「精神的健康の獲得」を課題とし、利用者にとって必要な栄養管理と生きる活力となる様な食事を提供します。高齢者の栄養管理については介護保険上でも明記され、日々の健康な生活を送る上で重要なものとなります。加齢や病気、食事形態等に伴う摂取量の低下に留意しつつ、五感への刺激や住み慣れた地域の食材、思い出の食事に着目し、体の健康と心の健康に配慮した食事提供を心掛けていきます。また、衛生管理には十分配慮し、安心・安全な食事が提供できる様、管理栄養士が中心となり職員への指導を行います。

### 【方針】

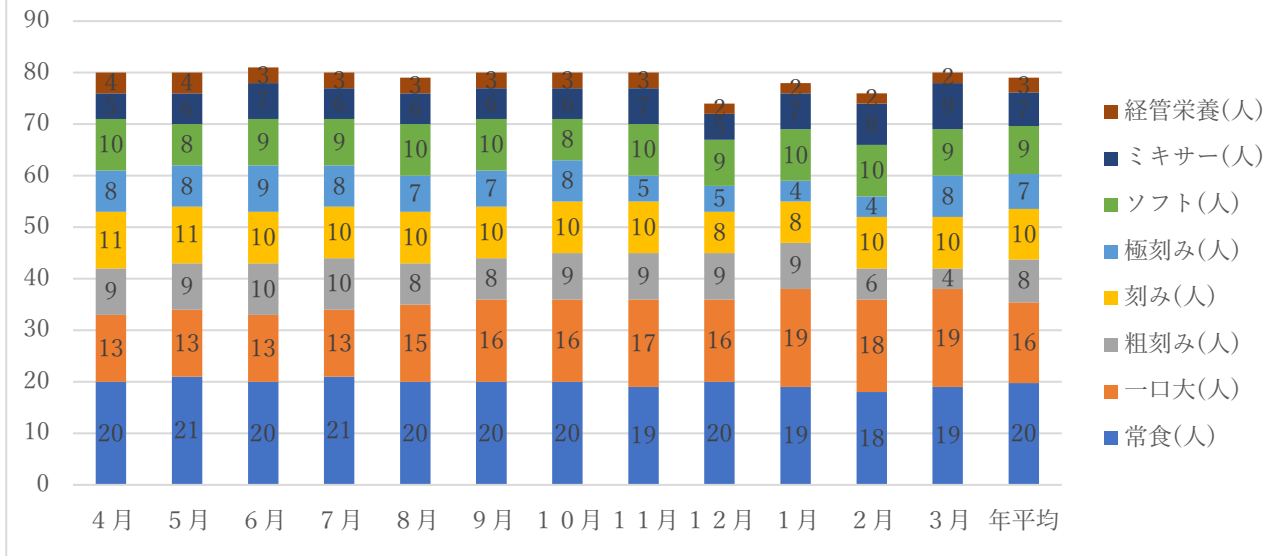
- (1) 利用者の栄養状態を把握する為、定期的なラウンドでの確認と聞き取りを実施し、個々に合う食事提供を実施する。
- (2) 利用者の残存機能だけでなく、嗜好や思い出の食事を提供する事で食事摂取の促進や摂取量維持に努めていく。
- (3) 食事形態に関わらず、匂いや味など五感からの刺激を通して食事ができるよう取り組んでいく。
- (4) 利用者の食事背景やご家族の意向を参考に栄養マネジメントを実施し、栄養ケア計画を作成。また多職種と連携し食事能力の維持、向上に努めていく。
- (5) 災害や感染症の発生時も継続的に食事提供ができるよう、非常食の管理を実施。災害や感染のBCP作成においても食事の備蓄等適宜検討していく。

### 【令和4年度実施報告】

今年度は適正な栄養管理を目標とし栄養バランスを意識した献立を作成する事が出来るよう、管理栄養士と厨房スタッフでのミーティングを実施致しました。また、食は楽しみと考え感染対策実施の中、月1回以上の行事食を実施、あおば農園で利用者と一緒に野菜を育て、収穫し、調理し振舞い、コロナ禍で制限があった環境下ではありましたが、皆で食べる楽しみを提供しました。宮城の郷土料理等を取り入れ利用者にとって親しみのある食事になるように工夫しました。今年度も嗜好調査の実施や、スタッフに職員食を食べてもらえるよう呼びかけ、食べた感想を具体的に聞き取りすることで、日々改善を行っております。

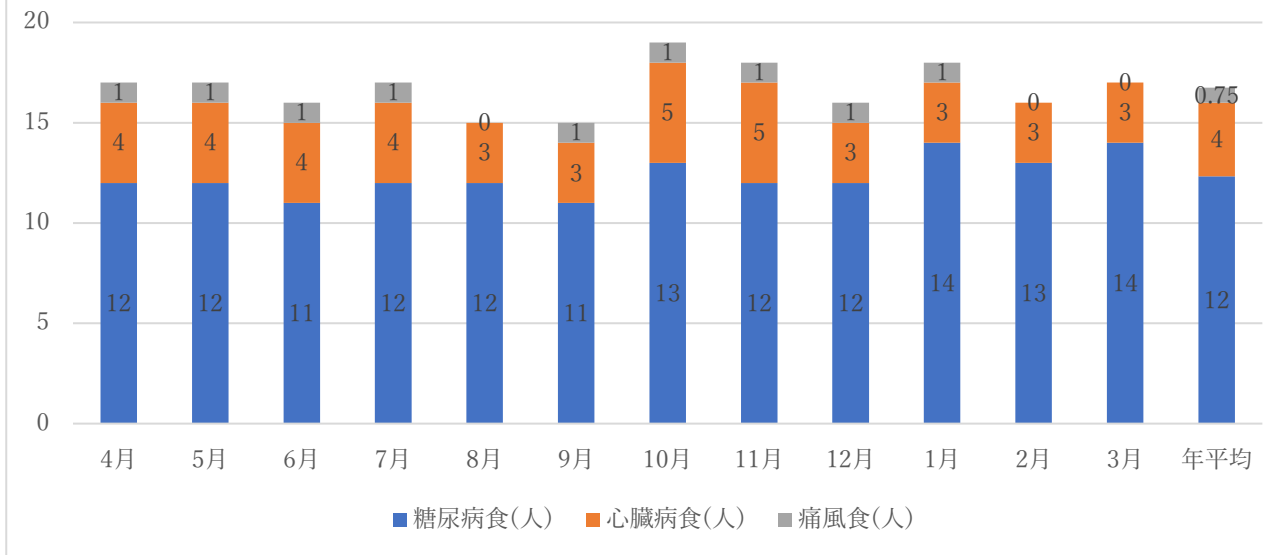
利用者の健康管理では毎月体重測定をもとにBMIの算出・血液学的な観点からも総蛋白やアルブミン値を下に摂取量の確認を行いました。利用者一人一人の嗜好に配慮し禁食の対応や、栄養補助食も種類を増やし個々に合わせ提供致しました。病中や治療後の利用者の声を聞き、回復食の提供も行いました。コロナ禍でミールラウンドを頻繁に行えない中ではありましたが、内線やPHS、システムを活用した申し送り等を行い、スタッフとの連携を図り利用者の状況把握を行うことが出来ました。

### 令和4年度 食形態推移



毎月数名の入退所はありますが、食事形態の水位は安定しており、全体的に摂取能力の大きな低下は見られておりません。

### 令和4年度 療養食加算推移



## v-①生活相談課(生活相談員)

### 【今期の目標と趣旨】

多様化するニーズへの対応や、医療行為が必要な施設利用希望者に対して柔軟かつ迅速にサービス提供が行えるよう関係機関と連携し取り組みを行います。また、利用者・ご家族・地域・施設の架け橋の構築と社会参加支援を行い、地域での生活が生きがいや充実感を感じながら安心して営めるよう取り組んでいきます。

その他、様々な事業所・関係者・地域と信頼関係を構築し、安定した入居率・稼働率の維持を図って参ります。

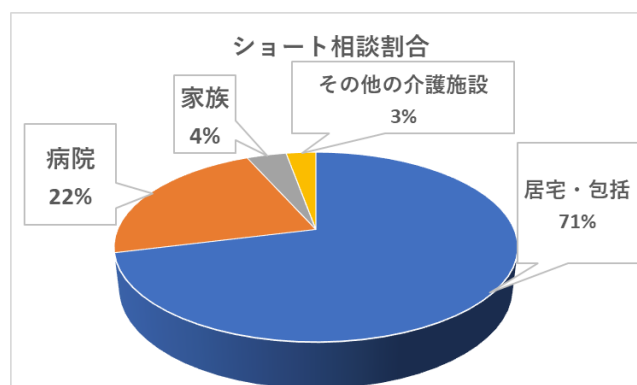
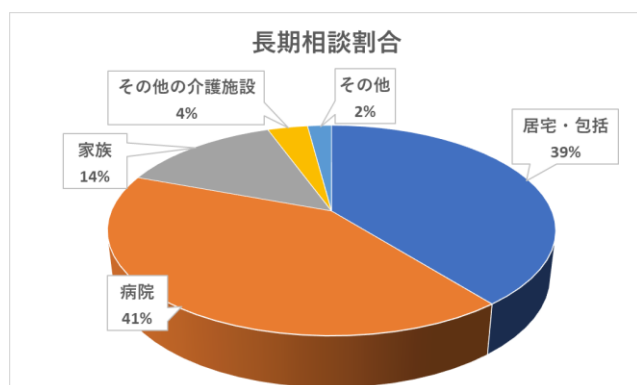
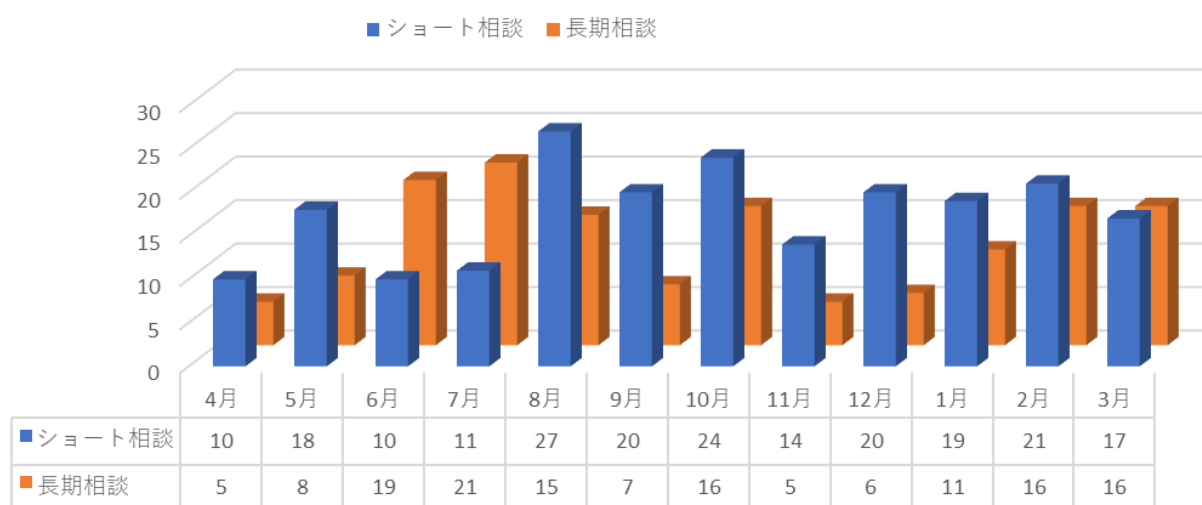
### 【方針】

- (1) 稼働率の安定をはかり、施設運営の安定化を図る。
- (2) 介護報酬を見直し、より良いサービス提供に向けた取り組みを行う。
- (3) 地域や家族との情報交換、交流が図れる取り組みを行う。
- (4) 災害や感染等、不測の事態に備え、地域や近隣施設との連携体制の構築を行う。

### 【令和4年度実施報告】

- (1) 在宅介護困難ケース、生活保護受給者、身寄りのない方の相談、在宅生活へ向けたショートステイ、在宅復帰を希望する長期入所者の対応、入院後のサービス利用の提案等、サービス利用を希望する利用者やご家族の状況・ニーズを都度確認し、短期間～長期間のショートステイ利用や長期入所サービスの提案や対応に努めました。相談内容としては、「ご家族やご本人の状況の変化による在宅介護の困難」「医療機関からの早期退院依頼」「利用中の介護サービス事業から対応困難と申し出があったケース」「身寄りがない方の受け入れ」等という相談が聞かれています。多岐にわたるケースについて各部署と連携を図りながら、サービス提供に努め、稼働率の安定に向け取り組みを行いました。
- (2) 科学的介護情報システム(LIFE)の継続した活用に取り組みしました。様々な利用者情報を集約し、より質の高いサービス提供に向け、各部署が連携してLIFEの活用を実施しています。今後も質の高いサービスが提供できるよう、この取り組みを継続して参ります。
- (3) ご家族との関わりについては、新型コロナウイルス感染症拡大もあり今期も取り組みは不十分な結果となっております。家族会、家族交流会について検討していましたが、感染防止の観点から延期致しました。今年度も継続してご家族へ向けたアンケートを実施し、感染予防への取り組みやケアに対する感謝のお言葉を頂いております。ご家族の思いへ応えられるよう各部署と連携し取り組んでいきたいと考えております。地域との交流については、今期は町ぐるみ清掃へ参加させて頂きました。今後は町内会長様と面談を重ね、施設の開放や地域行事参加等について検討していきたくて考えております。

## 長期入所・ショートステイ相談件数



全体を通して、居宅介護支援事業所からの相談が多い傾向です。また、病院からの退院  
 依頼で相談となるケースも増加傾向です。

## v-②生活相談課(介護支援専門員)

### 【今期の目標と趣旨】

施設サービス計画については本人やご家族の希望するニーズや必要なケア内容だけではなく、ICTの活用や地域交流についても盛り込んだ内容で作成します。施設サービスについては自己・外部の評価機関を活用し、評価から見える新たな課題に向け取り組み、より質の高いサービスを目指します。

### 【方針】

- (1) その人らしい生活ができるように本人の状態、状況だけでなくご家族や職員等から情報収集を行い、生活が継続したものとなるようにしていく。
- (2) その人らしい生活の継続に向け各セクションが協力して介入できるよう調整を行います。またICTの活用にも着目し検討していく。
- (3) 定期的なカンファレンスの他、随時利用者の様子を確認し、必要時にはカンファレンスを行い、統一したケアが提供できるよう取り組みを行う。

### 【令和4年度実施報告】

- 定期的に利用者のモニタリング、カンファレンスを行い、各部署と連携しながら現状と解決すべき課題の抽出に努めました。また、新型コロナウイルス感染対策の為各ユニットへのラウンドは極力控えながら、職員からの情報収集、申し送り等は内線やシステムを活用し、本人の状態把握と解決に向けての検討する取り組みを継続して行いました。看取り期においては、利用者が安楽に過ごす事ができるよう各部署と連携を実施しながらケアの内容を都度検討したほか、医師からの病状説明や看護からの処置等の説明の際には同席し、ご家族の意向を確認しながらサービス計画の作成を行いました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対応の為、利用者のご家族との対面での面会ができない状況が続いており、窓越しでの面会やタブレット端末を使用しての面会の実施となりました。その他、利用者の状態変化時等、ご家族への連絡を都度行い、ご家族との関わりが継続できるように努めました。
- 利用希望者、または利用者が入院され退院する際に実態調査を行い、情報収集と各部署との情報共有に努めました。利用者のADL状況に応じて、各部署と居室の選択や必要な福祉用具の選定を行い、安心して入居して頂けるよう入居調整を行いました。
- 要介護認定に係る調査業務委託を受け、認定調査業務を実施しました。認定調査業務の委託を受けるにあたり、適切な介護度判定の為、利用者本人やユニット職員から状況を聞き取るだけでなく、より専門性を高める為、外部の研修に参加し認定調査に必要な知識・技術の修得に努めました。

【令和4年度 認定調査件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0件	2件	2件	2件	0件	2件	1件	1件	1件	1件	3件	0件

【令和4年度 実績報告】(令和4年4月～令和5年3月)

長期入居(定員80名)月間・年間稼働実績 目標稼働 95% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	97.96	95.81	95.38	96.53	98.06	96.63	96.09
前年度	98.54	93.59	97.71	98.06	96.77	95.67	96.57

	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
今期実績	95.83	92.66	93.55	94.20	97.54	95.85
前年度	95.96	94.76	96.29	97.01	99.07	96.67

短期入所生活介護(定員20名)月間・年間稼働実績 目標稼働率 85% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	86.83	95.81	78.67	91.77	86.13	90.50	88.87
前年度	76.83	77.26	84.00	81.13	88.55	80.00	75.81

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
今期実績	95.17	91.61	88.23	89.29	85.16	89.00
前年度	79.50	83.71	93.39	99.29	86.45	83.83

令和4年度 累積稼働実績 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今年度	95.73	95.81	92.03	95.58	95.68	95.40	94.65
前年度	94.20	90.32	94.97	94.68	95.13	92.53	92.42

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均総合稼働率
今年度	95.7	92.45	89.29	93.21	95.06	94.21
前年度	92.67	92.55	95.71	97.46	96.55	94.1



## Ⅱ. 年間各種活動報告

### ⅰ 施設行事・委員会等の報告

#### 茂庭台あおばの杜 令和4年度年間行事報告

4月	お花見ドライブ	10月	芋煮会
5月	農園づくり	11月	ミニ運動会
6月	アロマセラピー	12月	クリスマス会
7月	夏祭り	1月	餅つき大会
8月	七夕飾り	2月	豆まき
9月	敬老会	3月	ひな祭り

※地域等の感染状況に留意し、予防策を講じながら実施致しました。

#### 茂庭台あおばの杜 令和4年度会議報告

経営会議	課長職以上の職員が参加し、施設の運営について話し合いを行っています。 各課の状況を報告しつつ、今後の課題や取り組みについて検討を行いました。 施設体制状況の確認やICT導入、内外部の研修内容と参加、福祉用具の購入等について決定していきました。
リーダー会議	経営会議で決まった内容の周知を行う他、各リーダーが取り組む内容の確認や経過報告等を行いサービス提供に向けた話し合いを行っております。自主性や気づきにも配慮し職員への指導内容や方法についても検討を行いました。
ユニット・部署会議	リーダー会議での決定事項や内容の周知を行う他、それぞれのユニットや部署で抱える課題や経過について話し合いを行い、必要に応じてユニット内で勉強会や事例検討を行いました。
機能訓練会議	利用者に合わせた機能訓練や介入状況、今後の介入方法等を検討しました。機能訓練指導員が中心となり、介護職員への指導や機能訓練計画についても情報を周知する取り組みを行いました。 その他福祉用具の使用状況等を共有し、必要な福祉用具の検討も併せて行っております。
全体会議	全職員を対象とした会議を行い、周知事項の確認の他、全職員を対象とした研修の実施や、地域清掃等の参加も併せて行いました。 状況に応じてオンラインを活用したビデオ通話を取り入れ、全職員が参加できるよう取り組んでおります。

茂庭台あおばの杜 令和4年度委員会活動報告

感染対策委員会	施設で発生する感染に対し、予防を踏まえ看護課と連携し理解についての勉強会や施設内での行動制限の実施を行っています。感染BCPについては看護課を中心に作成と見直しを随時実施しました。
排泄・褥瘡予防委員会	褥瘡の発生リスク、発生に至る原因、発生後の対応について勉強会を実施。看護課を中心とし皮膚状態の評価を行う事で、褥瘡マネジメントへの取り組みを行っています。排泄ケアについても感染対策を意識しオムツ交換回数の見直しを行いました。
看取り委員会	施設での看取りの対応について、利用者への関わり方や、ご家族との情報交換等について勉強会を実施致しました。看取り期の対応については該当ユニットだけではなく、他のユニットや各部署も介入し取り組みを行っています。
給食委員会	食意欲を促し、楽しく美味しく食事が出来るよう取り組んでおります。食事アンケートの実施や農園で育てた野菜の活用など、食べるだけではなく育てる事や調理する事に参加できる取り組みを実施しました。
記録委員会	日々行う介護記録や事故発生時の報告、会議の議事録等誰が見ても分かる記録の方法について勉強会を行いました。新人職員からベテランの職員まで、記録方法を統一することで、スムーズなケアに向けて取り組んでおります。
安全衛生委員会	産業医と連携し、職員が気持ちよく業務に介入できる取り組みを行っています。コロナ禍の状況もありオンラインを活用したラウンドや会議を開催し、感染発生時の職員の健康維持や衛生管理等について指導を受けました。
事故・身体拘束・虐待防止委員会	インシデント、アクシデントを可視化する為、書きやすい報告書の作成や集約した情報の開示、事例を活用した対策研修等を行いました。報告は各部署が取り組み、毎月集計を出す事で、同じ事故が起きないように取り組みを委員会が中心となり行っております。
ICT委員会	より良いケアの提供、ケアを提供する職員の介護負担軽減を目的にICTの情報収集や導入の検討を行っています。今年度はインカムを導入し、職員間の業務連携の構築に取り組んでおります。
CS委員会	サービスの質の向上、サービスを越えたサービスの提供に向け、入職時のマナー研修やサービスの考え方について研修を実施しました。
広報委員会	開かれた施設を目指し、施設内での行事や取り組みについて公表する仕組みを構築しました。今年度は研修や行事、施設からのお知らせを掲載しています。ブログ作成は日々のユニット内での様子等を公表し実施しています。

ii 内部・外部研修報告

月	外部研修名	参加課	内部研修(全体)
4月	新卒新人職員研修	新卒職員 介護課	事故防止離設対策研修
5月	介護職スキルアップ研修	介護課	脱水予防研修 地震想定訓練
6月	介護スキルアップ研修 認知症介護基礎研修 介護実習指導研修 新人職員研修 介護福祉士養成施設実習指導者研修	介護課 介護課 介護役職者	感染対策研修 消防訓練
7月	介護職の為の感染予防研修	介護課	排泄ケア研修
8月	褥瘡予防・摂食嚥下・ポジショニング実施研修 災害派遣チーム員養成基礎研修 キャリアパス支援研修 DWA T 研修 技能実習指導者講習	機能訓練課 介護課 中堅介護職 介護課	身体拘束防止 虐待防止研修
9月	DWA T 研修 介護福祉士実務者研修 認知症実践者研修 コミュニケーション研修 適切なケアマネジメント研修 介護スキルアップ研修 介護認定調査員現任研修	介護課 介護課 相談課 介護課 相談課	認知症の理解
10月	摂食嚥下リハ研究会 ケアマネジメント研修 介護つながりセミナー 介護スキルアップ研修	栄養課 相談課 介護職	事故防止研修 拘縮予防研修
11月	介護スキルアップ研修 排せつケア研修 LIFE 導入背景・介護現場の在り方 施設管理者研修 感染症研修	介護課 相談課 施設長・副施設長 看護課	身体拘束適切な ケア研修
12月	介護スキルアップ研修 新任職員研修 要介護認定調査に係る調査員現任研修 褥瘡予防研修	介護課 相談課 機能訓練課	認知症研修 消防訓練
1月	コミュニケーション研修 スキルアップ研修 介護職種の技能実習指導員講習	介護課 介護課	感染対策研修
2月	介護スキルアップ研修 介護保険の理念研修	介護課 相談課	褥瘡予防研修

	食教育研修 給食施設事例研修	栄養課	
3月	DWAT研修 介護スキルアップ研修 技能実習指導員研修	介護課 介護課 介護課	身体拘束研修 虐待防止研修

### iii 災害対策について

大規模地震をはじめとする災害が発生する可能性を鑑みて、災害BCP（事業継続計画）の作成と見直しを行い、災害時にできる限り施設サービス機能を低下させず、利用者が安全に過ごせるよう体制を整える為、昨年度から実施しているライフライン停止時の備え及び食糧等の備蓄の確認・点検・補充・計画に沿った避難訓練を継続して実施致しました。

また、今年度は災害発生時に指定避難所での生活が困難な高齢者、障害者等の災害時要援護者を受け入れるため、当施設は「福祉避難所」として指定されました。今後は災害時に茂庭台地区の福祉避難所として高齢者、障害者等の災害時要援護者及び地域住民等をスムーズに受け入れることが出来るよう体制を整えて参ります。

# 保育事業部事業報告

## 【富沢みなみ保育園】

### ○事業報告概要

令和4年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者参加型の園外遠足は中止、運動会、生活発表会は人数制限をしたうえで行ない、子どもたちにも保護者にも満足していただける園内行事に変更し、実施した。

### I. 実施状況

---

#### i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時～20時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時～18時実施）

#### ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

#### iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 歯科健診

#### iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年3回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

月	行事内容	活 動 内 容
4月	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
5月	子どもの日会	各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う
	内科健診	全園児内科健診
6月	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
	歯科健診	全園児歯科健診
7月	七夕会	各クラス短冊に願い事を書いたり七夕の由来を知る
	水遊び	各クラス水遊びを楽しむ(8月12日迄)
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
8月	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
9月	運動会	園庭を使用し以上児でかけっこ、玉入れ、ダンス等を楽しむ
	運動会ごっこ	園庭を使用し未満児でかけっこ等を楽しむ
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
10月	内科健診	全園児内科検診
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
	ハロウィン	季節の行事を楽しむ
11月	生活発表会	3.4.5歳児 お遊戯 歌の発表
	生活発表会	0.1.2歳児発表会の演目を披露、懇談会を行なう。
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
12月	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
	クリスマス会	サンタクロースが各クラスへプレゼント持ち季節の行事を楽しむ。
1月	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
2月	節分	季節の行事を楽しむ
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
	個人面談	面談希望の保護者と子どもの成長について話しをする
	交通安全教室	5歳児を対象とし、講師を招き交通ルールを学ぶ
3月	ひな祭り会	季節の行事を楽しむ
	誕生日会	各クラスで誕生日を祝う
	お別れ会	楽しかった園生活を振り返る。給食をバイキング形式で食べる。
	卒園式	園生活を通して成長したことをほめ、新たな門出をお祝いする。

## II. 施設運営管理

### i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

### ii 研修等

#### 1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	個人情報の取り扱い・人権擁護・虐待の早期発見について	16名
5月	書類の書き方（日誌・個人記録・見る視点等）	17名
6月	養護と教育が一体となった保育とは	18名
7月	防災対策の確認、ハザードマップの確認など	18名
8月	障がい児保育について	18名
9月	ノンコンタクトタイム 全クラス（後期に向けて）	19名
10月	遊びの内容	19名
11月	環境構成～子どもが主体となって遊びが発展できる環境	19名
12月	遊びの内容～年齢に考慮した遊びについて	19名
1月	食育活動について	19名
2月	ノンコンタクトタイム 全クラス（後期を振り返り、まとめ）	19名
3月	次年度の引継ぎ	19名

## 2) 外部研修

月	研修内容	参加人数
4月	特別支援教育講演会	1名
5月	特別支援コーディネーター研修(初級)①	1名
	特別支援保育研修会	1名
	乳児保育研修	1名
	新任職員研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)②	1名
	初任保育士研修	1名
6月	乳児保育研修	1名
	障がい児等保育研修	1名
	主任保育士会	1名
	初任保育士等研修	1名
	看護職員連絡会	1名
	アーチル・運営支援課合同基礎研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)③	1名
7月	初任保育士等研修会Ⅰ-A	1名
	主任保育士等研修会Ⅰ	1名
	仙台市保育所連合会保育士会	1名
8月	第1回学ぶ土台づくり研修会	1名
	給食担当者研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)④	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑤	1名
	食物アレルギー研修	1名
	主任保育士等研修会Ⅱ	1名
	保育園長研修会Ⅱ	1名
発達障がい疑似体験ワークショップ	1名	
9月	中堅保育士等研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑥	1名
	アーチル・運営支援課合同基礎研修	1名
	栄養士研修会	1名
10月	児童福祉施設等職員を対象としたヤングケアラー研修会	1名
	幼保小合同研修	1名
11月	主任保育士研修	1名
	園長研修会	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ研修)①②	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ研修)	1名
	乳児保育研修(キャリアアップ研修)	1名



	保護者支援・子育て支援研修（キャリアアップ研修）	1名
12月	中堅職員研修	1名
	福祉セミナー講演	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑦	1名
	障がい児保育研修（キャリアアップ研修）	1名
	マネジメント研修（キャリアアップ研修）	1名
1月	管理職対象セミナー1	1名
	管理職対象セミナー2	1名
	児童虐待防止推進員養成研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑧	1名

### iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
6月6日～17日	仙台こども保育専門学校	実習	1名
7月4日～15日	仙台こども保育専門学校	実習	1名
8月15日～26日	東北福祉大学	実習	1名
8月29日～9月21日	東北福祉大学	実習	1名
9月12日～24日	仙台幼児保育専門学校	実習	1名
10月3日～15日	仙台幼児保育専門学校	実習	1名
10月11日～21日	仙台リハビリテーション専門学校	実習	1名
11月1日～2日	仙台幼児保育専門学校	職場体験	2名

#### iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 11件

年 齢	怪我の内容	対 応
2歳児	午睡前の移動の際に保育者と手を繋いだまま一緒に歩くことを拒否した園児が手を繋いだまま寝ころび、腕が引っ張られる形となる。左肘内障。	整形外科受診
1歳児	玩具を持ち保育者の隣に座って遊び始めたときに左手を使用していなかった。左肘内障。	整形外科受診
2歳児	保育者の元へ身を預ける形で腹部を下にし倒れこんだ際に保育者も支えることができず、床に顎をぶつけ、下の前歯から出血。外傷性歯の打撲。	歯医者受診
〃	自分で椅子をひいた際に椅子の前足を浮かし、左足の薬指をはさむ。左第4足趾打撲傷。	整形外科受診
1歳児	午後おやつ後、椅子から立ち上がり歩き始めた際に右足を気にする様子あり。右足関節捻挫	整形外科受診
〃	午後おやつ前に椅子に座っていた本児が泣き出し、全身を確認すると右足中指、人差し指の裏に赤みあり。右第3趾打撲傷。	整形外科受診
2歳児	靴下を履きながらロッカーへ帽子を取りに行った際に滑って転倒しロッカーの枠に額を強打。前頭部打撲。	整形外科受診
〃	床に敷いていた布製マットに右足親指の爪が引っかかり、爪が剥がれる。右母趾挫創。	整形外科受診
3歳児	給食中に保育者が介助のために使用していた箸が当たった。亜脱臼の疑い。	歯科受診
2歳児	午睡前に園児がパーテーション付近で絵本を読んでいた際に滑って転倒し左目、左頬を強打した。	整形外科受診
0歳児	クラス保育中に園児が他児と走り出し、滑って転倒しパーテーションの柵に額、頭部を強打した。	整形外科受診

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

#### v 給食部門報告

【令和4年度の目標・趣旨】

**楽しく食べる経験を深め、『食を営む力』の基礎を培う。**

安全・衛生的で、園児に喜んでもらえる食事の提供を目指す。

また、食育活動を通して食に興味を持てる環境を作り、好きな食べ物が一つでも増えるようにする。

【概要】

① 安全・衛生的な食事を提供する。

厨房業務の管理を行なう。

給食時、保育室へ喫食状況の観察に行き、個々の喫食状況や好みを知る。

② “食べること”に興味を持てるよう、季節に合わせた食材や、献立の検討を行い、食事を提供する。

食育活動においては、子どもたちが食に興味を持てる活動を検討し、実施する。  
喫食状況や、活動の反省を踏まえて給食会議を開催する。

また、個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児については、給食室・担任・施設  
栄養士で必要に応じて会議を行い、変更点を周知する。

#### 【実施内容】

##### ・栄養管理

毎月の発育測定の数値を把握し、カウプ指数・成長曲線の作成を行い、担任と共有している。  
肥満・やせを把握し、担任及び看護師と経過を観察し、必要時には働きかけを行った。  
年2回、性別・年齢・発育測定値及び食事摂取基準をもとに、3歳未満児と3歳以上児で  
給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

##### ・食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。食材と触れ合う活動や、栽培活  
動、保健活動、食事のマナーや食具の使い方など、子どもたちの興味のあることや、課題  
などを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。

活動実施後、活動が年齢にあったか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの  
様子を踏まえて反省を行った。

(食文化に触れる)



(保健活動)



(食材に触れる)



##### ・イベント食

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。

季節感のある食事の提供を積極的に行った。

##### ・喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認した。

子どもたちが苦手なメニューや食材については、少しでも食べられるよう調理方法や組み  
合わせについて検討した。

子どもたちの食事のマナーについてアドバイスをを行った。

・安全な食事に向けて

離乳食・アレルギー食の誤配を防ぐため、配膳前のチェックを行った。

離乳食児は、食事形態が相違ないかの確認も行った。

アレルギー児の周知と、アナフィラキシー症状について周知・理解に努めた。

【時期に向けての課題】

- ・食や、食材に興味を持ち、食事の時間が楽しいと思えるような活動を企画する。
- ・アレルギー児の対応、周知の徹底を行う。

vi 防災・避難訓練

月	行事内容	活 動 内 容
4月	避難訓練	火災を想定し 保育士の側に集合（保育室入口まで避難）
5月	避難訓練	火災の合図で担任のもとに集まり指示に従って行動する
6月	避難訓練	地震を想定し 災害の違いにより避難の仕方が変わることを知る
7月	避難訓練	保育士の声かけに反応しおやつや玩具に気をとられないで避難する
8月	不審者対応訓練	園内に不審者が現れた際の手順を把握し、落ち着いて行動する
	避難訓練	朝の時間帯避難訓練の目的を知る
9月	避難訓練	夜間避難訓練
	避難訓練	土曜保育時の避難の仕方を知る
10月	避難訓練	二次避難場所を知る
11月	総合避難訓練	消防署の方に避難の仕方等見てもらい講評を受ける。
12月	避難訓練	担任以外の先生の指示に従って避難する
	不審者対応訓練	玄関より不審者が現れた際の対応、避難を知る。
1月	避難訓練	朝の時間帯避難訓練の目的を知る
2月	避難訓練	火災を想定し 保育士の側に集合（非常口まで避難）
	浸水避難訓練	保育士の指示のもと、2階へ避難する
3月	避難訓練	三次避難場所を知る
	不審者対応訓練	不審者対応をしている最中に静かに次の指示を待つ

vii職員配置

施 設 長	1 人
主 任 保 育 士	1 人
保 育 士	29 人 (常勤：25人 非常勤：4人)
栄 養 士	2 人 (常勤：1人 非常勤：1人)
看 護 師	3 人 (常勤：2人 非常勤：1人)
嘱 託 医	1 人
嘱 託 歯 科 医	1 人

## 【鹿野なないろ保育園】

### ○事業報告概要

令和4年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

新型コロナウイルス感染対策を徹底し、運動会・生活発表会は人数制限や時間を分け参加型にし、その他の行事も本来の形を取り戻しながら、子どもたちにも保護者にも満足していただけるよう実施した。

### I. 実施状況

---

#### i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時・土 18時～19時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～金 7時30分～18時実施）

#### ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

#### iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 保健だよりの作成
- 3) 歯科検診

#### iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施 ☆…保護者参加行事

月	日	行 事	対 象	内 容
4月	1(金)	進級式	3歳以上児	進級したことを喜ぶ
	2(土)	☆入園式・クラス懇談会	新入園児	入園したことを祝う
	22(金)	誕生会	2歳～5歳児	各クラスで誕生児を祝う
5月	13(金)	こどもの日会	3歳以上児	製作を披露したり歌ったりして祝う
	18(水)	内科健診	全園児	内科健診
	20(金)	誕生会	1歳～5歳児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
6月	7(月)	歯科検診	全園児	歯科検診
	14(火)	☆保育参観	5歳児	親子で時計製作
	15(水)	☆保育参観	3歳児	親子で動物マラカスを作り音楽会
	16(木)	☆保育参観	4歳児	親子でけん玉作り
	24(金)	誕生会	全園児	以上児…各クラス 未満児…合同で誕生児を祝う
7月	15(金)	交通安全教室	5歳児	財団交通課を招いて道路の 渡り方等を学ぶ
	20(水)	七夕まつり	3歳以上児	園庭に屋台を設置しお祭りの 雰囲気を楽しむ
	22(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
	27(水)	龍 ゲーム大会	3・4歳児	ご当地ライダーを派遣し、ゲーム大会を 楽しむ
8月	19(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
9月	17(土)	☆運動会	全園児	小学校体育館で3部制で各クラスかけっ こやおゆうぎ、リレー等を行う
	28(水)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
10月	14(金)	遠足	4・5歳児	バスで動物園に行き楽しみ、 お弁当を食べる
	21(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
	31(月)	ハロウィンパーティー	全園児	自分で作った飾りを身に付け各コーナ ーで楽しみながらおやつをもらう
11月	9(水)	内科健診	全園児	内科健診
	18(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
12月	10(土)	☆生活発表会	全園児	入替制で歌や表現遊び、劇ごっこ等各年 齢に合ったものを表現する
	15(水)	龍 防犯教室	4・5歳児	ご当地ライダーを派遣し、自分の身を 守る術を学ぶ
	23(金)	クリスマス会	全園児	製作を披露し、歌を歌い、サンタさんか ら届いたプレゼントに喜ぶ
1月	13(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
	16(月)～ 20(金)	☆懇談会	全園児	進級・進学に向け話し合いを行う 子育ての悩み等を共有する
2月	3(金)	豆まき会	全園児	豆まきを行う
	20(月)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
3月	3(金)	ひな祭り会	全園児	製作を披露したり歌ったりして祝う

10(金)	誕生会	全園児	以上児未満児に分かれ誕生児を祝う
18(土)	☆卒園式	5歳児	園生活を振り返り新たな門出を祝う
22(水)	お別れ会	3歳以上児	お別れする友達に感謝の気持ちを伝える

## II. 施設運営管理

### i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

### ii 研修等

#### 1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	ミルクの作り方、おむつ交換の仕方、SIDS チェック表の記入の仕方について	5名
	薬の取り扱い、日誌の記入の仕方について	7名
	熱性痙攣について	7名
	アレルギー食について	全職員
5月	指導計画の書き方について	7名
	保護者支援について（若手向け）	5名
	嘔吐処理について	全職員
6月	水遊びについて	8名
	AED機器講習	全職員
7月	特別支援保育について	12名
8月	保育経過記録の書き方について	4名
9月	幼児教育について	14名
10月	乳児保育について	10名
11月	マネジメントについて	9名
12月	アレルギー・エピペンについて	全職員
1月	保護者支援について（中堅以上向け）	10名
2月	全体的な計画見直し	6名
3月	年間反省	全職員



## 2) 外部研修

月	研 修 内 容	参加人数
5月	コーディネーター研修(2回)	1名
	特別支援保育研修	1名
	保育所園長研修	1名
	乳児保育研修	1名
	初任保育士研修	1名
6月	コーディネーター研修	1名
	看護師研修	1名
	主任保育士研修	1名
	アーチル研修	1名
7月	保育士会全体研修	1名
	施設長研修	1名
	初任保育士研修	1名
	主任保育士研修	1名
8月	民間主任保育士会	1名
	コーディネーター研修	1名
	中堅保育士研修	1名
	発達障害疑似体験ワークショップ	1名
9月	中堅保育士研修	1名
	コーディネーター研修(2回)	1名
	園長研修	1名
	主任保育士研修	1名
10月	施設長研修	1名
	乳児保育研修(キャリアアップ研修) ※1月まで定期開催	2名
11月	幼児保育研修	1名
	民間主任保育士会	1名
12月	コーディネーター研修	1名
1月	コーディネーター研修	1名
2月	民間主任研修	1名
3月	園長研修	1名

### iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

新型コロナウイルス感染予防対策のため受入れなし

#### iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 0 件

#### v 給食部門報告

##### 【令和 4 年度の目標】

- 安全で衛生的な食事の提供を維持する。
- コロナ禍での食育活動を充実させる。
- 季節感のあるメニューやイベント食を食べやすく、子どもが楽しめるものに改善する。
- 食育目標：食事を楽しみ、食への興味・関心を高め、心身ともに健康を保つように働きかけを行う。

##### 【概要】

- ① 安全かつ衛生的な食事を提供することができるよう、厨房業務の管理を行う。  
個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児においては、保護者から家庭での食事の様子を聞き取り、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて話し合い、情報を周知する。
- ② 食育活動においては、子どもたちが食に興味・関心を持てる活動を検討し、実施する。  
感染症対策を行いながら、様々な食体験を通して食への興味・関心を高める。
- ③ 保育室へ喫食状況を観察に行き、個々の喫食状況や、嗜好の傾向を確認する。  
喫食状況は、保育室の巡回や、保育士への聞き取りを行う。  
食べることに興味を持てるように季節に合わせた食材や料理の検討を行い、食事を提供する。

##### 【実施内容】

- 安全な食事に向けて

日清医療食品のチーフと密に情報共有を行い、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。  
離乳食やアレルギー食の誤配を防ぐため、献立作成時に委託側と施設側で二重に内容を確認し、配膳前のチェックを行った。

離乳食では、食事形態があっているか咀嚼や嚥下が出来ているのか確認した。特に月齢の差が大きかったため、一人一人に合わせた食事の提供を心掛けた。発達に応じた食事が提供できるように保護者に声かけを行い、必要に応じて面談も実施し離乳食を進めていった。  
また、食物アレルギーについて園内研修を行い、園児の状況や対応について周知した。

- 喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認し、苦手なメニューや食材については、調理方法を変えたり取り入れるメニューを変えたりして少しでも食べやすくなるように給食会議で話し合い、献立に反映させた。

また、食べ慣れているメニューを中心に献立を作成した。

### ・イベント食

毎月の誕生日会、行事食の提供を行った。

誕生日会メニューでは、桜や雪だるまの形に盛り付けをしたり、エビフライなどをトッピングしたりして特別感のあるものにした。

行事食では食べやすい子ども達が好むメニューを選び、盛り付けの工夫を行い、喜んで食べられるものを取り入れた。



図1.子どもの日会メニュー



図2.クリスマス会メニュー



図3.ひなまつり会メニュー

### ・食育活動

食育活動を通して、食への興味・関心だけでなく、自分で作る喜びや友達と協力する楽しさなども感じられるような活動を取り入れた。

食に関するマナーとして、食具の持ち方や、食べる時の姿勢、三角食べなど年齢に応じた食育活動を行った。

プランター栽培では、小松菜やほうれん草を栽培し、収穫したものを給食に取り入れてもらうことで、採れたての野菜の味や食感を味わえるようにした。他にもミニトマトやオクラ等を栽培し、食育活動に取り入れた。

クッキング活動では感染症対策を行い、ケーキやごはんピザ等一人ずつ作って自分で食べられるメニューを実施した。カレー作りでは、自分たちで切った野菜をその場で給食室の先生に調理してもらうことで、自分たちで作った喜びや友達と協力する楽しさを感じられるようにした。



図4.パン作り



図5.ごはんピザ作り



図6.クリスマスケーキ作り

### 【今後の課題】

- ・安全・衛生的な食事の提供を維持する。
- ・栽培活動、クッキング活動を充実させる。

食育実施記録

日 程	内 容	対象（参加人数）
5月9日	三角食べ	5歳児（18名）
5月9日	食事のマナー	3歳児（22名）
5月10日	エンドウ豆のさやむき	2歳児（15名）
5月12日	ミニトマトの苗植え	3歳児（22名）
5月16日	ピーマンの苗植え	4歳児（16名）
5月17日	オクラ、きゅうりの苗植え	5歳児（17名）
5月18日	春野菜の観察	5歳児（16名）
6月27日	にぼしの観察	5歳児（16名）
8月5日	野菜スタンプ	4歳児（13名）
8月17日	野菜スタンプ	1歳児（15名）
8月17日	野菜スタンプ	5歳児（11名）
8月17日	野菜スタンプ	3歳児（17名）
8月17日	とうもろこしの皮むき	2歳児（13名）
8月22日	トマトソース作り	3歳児（21名）
8月24日	シャーベット作り	4歳児（17名）
9月21日	魚の姿	5歳児（16名）
9月21日	魚の姿	4歳児（14名）
9月27日	ほうれん草の種まき	4歳児（18名）
9月27日	小松菜の種まき	3歳児（18名）
9月29日	ランチョンマット作り	4歳児（17名）
10月4日	芋煮作り	5歳児（21名）
11月9日	カレー作り	5歳児（21名）
11月24日	ごはんピザ作り	4歳児（20名）
12月15日	クリスマスケーキ作り	4歳児（15名）
12月16日	クリスマスケーキ作り	5歳児（18名）
12月19日	クリスマスケーキ作り	3歳児（19名）
1月11日	ごはんピザ作り	3歳児（20名）
1月20日	ごはんピザ作り	2歳児（16名）
3月23日	パン作り	5歳児（21名）

vi 避難訓練実績報告

月	日	設定	内容	避難場所	時間	参加人数
4月	26日	地震(震度4)	避難	各保育室	10:05~	85名
5月	11日	地震(震度4)	避難	園庭	10:05~	108名
6月	17日	地震(震度4)	避難	園庭	10:10~	101名
7月	7日	地震(震度4)	避難	園庭→ 鹿野3丁目公園	9:55~	95名
8月	18日	火事 近隣より出火	避難	各保育室	11:30~	84名
9月	9日	火事 近隣より出火	避難	ほしぐみ保育室	18:30~	16名
	30日	水害	避難	ホール	10:00~	100名
10月	19日	火事 (総合)	避難 通報訓練	園庭	10:03~	101名
11月	14日	地震(震度6)	避難	園庭→ 長町南小学校	9:30~	106名
12月	9日	火事 近隣より出火	避難	ほしぐみ保育室	7:30~	12名
1月	14日	火事 近隣より出火	避難	玄関	10:00~	22名
	30日	不審者	避難	ホール	10:00~	96名
2月	27日	地震(震度4)	避難	園庭	11:05~	104名
3月	27日	火事 給食室より出火	避難	園庭	10:55~	102名

vii 職員配置

施設長	1人
主任保育士	1人
保育士	23人 (常勤:18人 非常勤:5人)
栄養士	1人 (常勤:1人)
看護師	1人 (常勤:1人)
嘱託医	1人
嘱託歯科医	1人

## 【榴岡なないろ保育園】

### ○事業報告概要

令和4年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、日時の変更や規模の縮小、参加人数を制限するなど可能な範囲で子ども達にも保護者にも満足していただけるよう実施した。

### I. 実施状況

---

#### i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員56名（最大受入数66名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時実施）

#### ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

#### iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 歯科検診、内科健診
- 3) 保健だよりの作成

#### iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事

	保護者参加行事	保育園内行事	備考
4月	入園式	内科健診、誕生会	◎入園式は保護者1名、0歳児と1～5歳児の2部制で時間帯と部屋を分けて行った。3年目にして初めて行った入園式は温かい式だったと好評
5月		子どもの日の会 誕生会	
6月	保育参観・懇談会 (全クラス)	誕生会、歯科検診	◎保護者の参加は1名。未満児と以上児、日程を分けて行う。普段の様子や保護者同士交流する機会が持つことが出来た。
7月		水遊びの会 七夕会、誕生会	
8月		夏祭り、誕生会	◎今年の夏祭りのテーマは「海の生き物」。子ども達の作品などを飾って雰囲気作りをし、子ども達が楽しめるような企画を用意。夢中になって遊ぶ姿、5歳児がお店屋さんになりきって呼び込みしたりやり取りしたりする姿等が見られた。
9月	徒歩遠足(3～5歳児) →榴ヶ岡公園へ	誕生会	◎4月から異年齢交流を実施。3グループに分かれグループごとに出発。公園では遊具や広場などでたくさん体を動かして遊ぶ。公園で食べたお弁当は格別に美味しかったようで完食する児童が多かった。
10月	運動会ごっこ(0～3歳児) 運動会(4,5歳児) →園庭で実施 ※5歳児のみ保護者参加	誕生会  内科健診  ハロウィンパーティー	◎今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、園内で実施する。園庭が狭いため、5歳児のみ保護者参加にしたが、最後の運動会ということもあり、子ども達の一生懸命な姿や頑張る姿、友だちと力を合わせて競技に取り組む姿等を見ることが出来て「良かった」との声がたくさん聴かれた。 ◎ハロウィンパーティーでは園全体をハロウィン風に飾りつけをする。各クラス、子ども達と作った衣装やアイテムを身につけ、保育室を周り披露したり、撮影大会をしたりして盛り上がる。
11月		交通安全教室(5歳児) 誕生会	◎交通安全教室では交通ルールや横断歩道の渡り方について改めて再確認することが出来た。
12月	生活発表会(0～2歳児) →平日3日間に分けて行う 園内で実施 0歳児は1名、1,2歳児は保護者2名参加 生活発表会(3,4,5歳児) →駅東交流センターで実施 各クラス保護者2名参加	クリスマス会 誕生会	◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、時間短縮、人数制限、入れ替え制などの対策を講じながら実施する。未満児は安心できる環境を整えたことで、友だちと一緒に楽しみながらダンスや劇、手遊びなどを披露することができた。以上児は緊張しながらも友達と力を合わせ一人ひとりが力を発揮し、楽しみながら表現する喜びを感じていた。 ◎クリスマス会は2部制で実施する。サンタが登場すると年齢によって反応は様々だったが、笑顔でプレゼントを受け取り、午睡明けには再び枕元にプレゼントがあり、喜び二倍の子ども達の姿に職員も嬉しい気持ちになった。
1月	保育参観→中止 保育懇談会(2,5歳児)	誕生会	◎感染症流行の兆しにより懇談会のみ実施する。進級や就学に向けての不安や悩みが出され、保護者同士、意見交換や交流する機会が持てて良かった。
2月		節分 おはようシアター 誕生会	◎節分では放送での演出に子ども達はドキドキ!!「怖い」と言いながらも頑張って鬼退治をした。 ◎おはようシアターでは芸術に触れる機会が少ないため、子ども達は大喜び。演者の方とのやりとりも楽しんでいた。

3月	卒園式 →仙台東交流センターで行 う	ひなまつり会、 誕生会 お別れ会 大きくなったお祝い会	◎卒園式の会場は園外で行ったが、暖かい雰 囲気を大切に「気持ちのこもったいい式だっ た」と好評。 ◎今年のひなまつり会は4,5歳児が成田山に 招待されてバスで行く。最後にいい思い出が 作れて良かった。 ◎お別れ会ではお別れを惜しむ気持ちや感謝 の気持ちを持って参加する姿が見られ胸が熱 くなった。 ◎大きくなったお祝い会では1年の成長をみ んなでお祝いした。出来るようになったこと をみんなの前で披露することにより進級に向 けて、子ども達が期待や楽しみを持ってたよ うに感じる。
----	--------------------------	--------------------------------------	--

※誕生会、身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

※行事の様子等は、写真を掲示したり連絡ノートや降園時に伝えたりしながら、  
子ども達の様子が分かるようにしている。



## II. 施設運営管理

### i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

### ii 研修等

#### 1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	ミルクの作り方、おむつ交換、SIDS のチェック等の記入の仕方	新入職員 4 人
4月	全体で周知、確認すべき事項	全職員
4月	クレーム対応や保護者対応について	全職員
5月	書類の記入の仕方やポイントについて	新入職員 3 人
5月	保育中の事故や怪我等の対応、応急処置の仕方について	全職員
6月	乳児保育について	8 人
6月	AED 講習	全職員
7月	幼児教育について	7 人
8月	事例検討	7 人
9月	保育経過記録の書き方	新入職員 3 人
10月	実践を通して子どもの自主性を育み、子どもが楽しめる遊びについて（未満児と以上児）	全職員
11月	感染症について	全職員
12月	事例検討	7 人
12月	絵本の大切さについて	全職員
1月	マナーについて	全職員
2月	エピペンの使い方について	全職員
2月	全体的な計画、食育、保健計画の見直し（共有、確認）	全職員
3月	年間の振り返り	全職員

## 2) 外部研修

月	研修内容	参加人数
5月	保育所長研修	1名
	コーディネーター研修（初級）①	1名
	コーディネーター研修（初級）②	1名
6月	初任保育士研修会Ⅰ	1名
	主任保育士研修会	1名
	初任保育士研修会Ⅱ	1名
	コーディネーター研修（初級）③	1名
7月	保育士会全体研修会	1名
	主任保育士研修会Ⅰ	1名
	特別支援保育研修会	1名
	保育所施設長研修	1名
8月	主任保育士研修会Ⅱ	1名
	コーディネーター研修（初級）④	1名
	中堅保育士等研修会	1名
	食物アレルギー研修	1名
	コーディネーター研修（初級）⑤	1名
9月	保育所長研修会Ⅱ	1名
	コーディネーター研修（初級）⑥	1名
	アーチル・運営支援課 合同基礎研修	1名
10月	栄養士研修会	1名
	発達支援者養成基礎講座	1名
11月	保育士の離職防止対策セミナー 保育所等のリテンションマネジメント	1名
	幼児保育（キャリアアップ研修）	1名
	マネジメント（キャリアアップ研修）	1名
	障害児保育（キャリアアップ研修）	1名
	保育従事者並びに保育所委託医研修会	1名
	幼児教育（キャリアアップ研修）①	1名
12月	マネジメント（キャリアアップ研修）	1名
	障害児保育（キャリアアップ研修）	1名
	幼児保育（キャリアアップ研修）	1名
	幼児教育（キャリアアップ研修）②③	1名
	保育施設安全管理研修	1名
	コーディネーター研修（初級）⑦	1名
1月	社会人としてのマナーについて	2名
	幼児保育（キャリアアップ研修）	1名

	マネジメント（キャリアアップ研修）	1名
	障害児保育8キャリアアップ研修）	1名
	相談・支援研修「現代の子育てと家庭に対する相談支援のあり方」	1名
	コーディネーター研修（初級）⑧	1名
	アーチル運営支援課合同研修	2名
2月	にっぽ保育セミナー「不適切な保育について」	1名
	小学校との接続～幼児教育と小学校をつなぐ取り組み～	1名
	給食施設事例発表研修会	2名
	関係機関職員研修会	1名
	仙台市立保育園、こども園協議会、園長研修会～保育の質を高め続けるチームであるために～	1名
3月	安全管理体制についての研修	1名
	保育士カフェ	1名

※今年度の外部研修はオンラインと集合型を選択できるハイブリット形式での参加だった。経験に応じた研修に参加することで、職員の知識や学び、保育の手がかりに繋がることのできたのは良かった。また、それらを自身の保育に活かす、実践しようとする姿勢も見られた。

園内研修では経験年数に応じた内容や実践形式のものを取り入れ、内容を工夫するなど保育の質の向上を図るよう努めた。

### iii 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 7件

年 齢	怪我の内容	対 応
4歳児	クラス活動中に下の眼瞼下部に5mm程度の裂傷	眼科受診
4歳児	給食の片付け中友達が持っていた歯ブラシが目にあたり、充血、赤くなる。	眼科受診
1歳児	クラス活動中に転倒、椅子に唇をぶつけ上唇小帯が切れて出血	歯科受診
5歳児	クラス活動中にバランスを崩し転倒、前歯のぐらつきあり	歯科受診
5歳児	午睡目にバランスを崩し壁に衝突、頭部5mm程度切れて出血、縫う。	外科受診
2歳児	クラス活動中に右の頬を友達に噛まれる	皮膚科受診
1歳児	クラス活動中に転倒、その際肘が抜けてしまう	整形外科受診

上記について、同じことが起こらないよう、また新たな事故を起こさないように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全を第一に考えた保育環境整備に努めていきたい。

#### iv 給食部門報告

##### 【令和4年度の目標】

- ①安全かつ衛生的で、食べることを楽しんでもらえる食事を提供する。
- ②離乳期だけでなく、保護者支援を充実させる。
- ③保育目標『心も身体も健康な子ども』『人と関わる楽しさを感じられる子ども』を達成できるよう、食事や健康などの習慣や態度に関して、友だちと協調しながら習得したり考えたりできるような活動や働きかけに取り組む。
- ④食育目標『楽しく食べる経験を深め、食を営む力の基礎を培う』を達成できるよう、1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿をみすえた見通しをもち、食育活動を実施する。安全かつ衛生的で、食べることを楽しんでもらえる食事を提供する。

##### 【目標達成のための取り組み】

- ①日清医療食品のチーフおよびインストラクターと連携し、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。また、昨年度好評だった絵本給食を引き続き実施した。
- ②昨年度に引き続き、離乳の支援として毎月個別にコメントを渡し、園での給食の様子を伝えるとともに、食材の練習がすすめられるようレシピの提供などを記載した。  
また、連絡帳などで保護者より相談があった際は、回答やレシピ提供等を個別に実施したほか、個別に相談があったテーマは他の保護者も同様な悩みを抱えている可能性を考え、毎月発行している給食だよりで取り上げた。
- ③引き続きコロナ禍において制限がかかる中で、密にならない等の感染対策をとりながら友達と協調して行ったり、友達と一緒に食べる意欲を持てたりできるような環境設定を保育士と考え、活動内容を計画した。クッキング活動も実施しなかったわけではないが、実際に子どもたちが調理作業に携わらなくても、調理過程を見せ変化を観察し考える活動もできた。
- ④1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿をみすえた見通しを、担任と共有し、そのために必要なことは何か？どうしたらその力が習得できるか？という視点を常にもち、食育活動を構成するようにした。

##### 【実施内容】

###### ・栄養管理

毎月の身体計測値から、カウプ指数の計算や成長曲線の作成を行い、担任・看護師と共有した。年2回、身体計測値および日本人の食事摂取基準をもとに、3歳未満児と以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

###### ・安全な食事の提供

離乳期の子どもについては、個々の発達の状況を保護者および担任と情報共有し、適した形態ややわらかさで提供した。

提供前には、施設長の検食で問題ないかを確認するとともに、異物混入などがないか目視確認した。インシデント発生時は、厨房職員と原因を分析し再発防止に努めている。食物アレルギーについては、看護師による園内研修を行ったほか、園児の状況や対応を

職員間で情報共有し、誰でも同様の対応が取れるよう周知した。

• 喫食状況の把握

喫食状況や子どもたちの声、保育士の所感を聞き、献立改善に生かしている。サイクルメニューを生かし、短いスパンで改良を試みているほか、行事食は昨年度をふまえ改良を重ねた。また、よりよい献立内容にできるよう、監査で指導いただいた点もふまえ、果物の回数や3歳未満児の午前おやつの変種を増やす等対応した。食事の様子を見に行った際は、上記だけでなく食品の栄養や、食事のマナーについても伝えるようにしている。

• 五感で楽しめる食事

毎月の誕生会や、行事食の提供をしている。昨年度から引き続き実施した絵本給食は、今年度も子どもたちにとどまらず、保護者も一緒に楽しんでいる様子が見られた。



図1 絵本給食  
「のりものクッキー」



図2 絵本給食「くろくまの  
ほん」



図3 ひな祭りの行事食

• 食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。食材とふれあう活動や、栽培活動、食事のマナー、食具の使い方など、子どもたちの今興味のあることや課題などの状況を担任と話し把握しながら、適宜計画から変更し活動内容を決めて実施した。

日 程	内 容	対 象
4 月	絵本給食：おにぎり作り	3 歳以上児
5 月	絵本給食：金太郎ごっこ	2 歳児
5 月	野菜の苗植え (ピーマン・なす) (枝豆・ミニトマト)	4 歳児 5 歳児
5 月	バケツ稲：芽出し	4 歳児・5 歳児
5 月	バケツ稲：土づくり	4 歳児・5 歳児
6 月	はつか大根の収穫	3 歳児
6 月	バケツ稲：苗の植え替え	4 歳児・5 歳児
6 月	たまごの不思議	5 歳児
7 月	はしを使ってみよう！	3 歳児
7 月	なすの収穫	4 歳児
7 月	野菜スタンプ～包丁で切ってみよう～	5 歳児
7 月	中玉トマト・ミニトマトの収穫	5 歳児

8月	野菜スタンプ	2歳児
8月	じゃがいもの収穫～ポテトパーティ！～	3歳児
8月	なす・ピーマンの収穫	4歳児
8月	へんしんまめまめ～枝豆・大豆の収穫～	5歳児
8月	中玉トマト・ミニトマトの収穫	5歳児
9月	乾物の不思議	1歳児
9月	おにぎり作り	3歳以上児
9月	収穫祭～夏野菜ピザ作り～	4歳児・5歳児
10月	給食のお手伝い～野菜ちぎり・きのこさき～	2歳児
10月	バケツ稲：稲刈り	4歳児・5歳児
11月	いもほりごっこ	1歳児
11月	しいたけ栽培・収穫	3歳児
11月	食事のマナー	3歳児
11月	バケツ稲：精米(脱穀・もみすり)	4歳児・5歳児
11月	みそ作り	4歳児
11月	いろいろりんご～好きな品種を探せ！～	5歳児
11月	味噌焼きおにぎり作り	4歳児
11月	きりたんぼ作り	5歳児
12月	ピザトッピング	4歳児
12月	サンタケーキ作り	5歳児
12月	新年を迎えよう～餅つきごっこ・鏡もち作り～	3歳児
12月	新年を迎えよう～おせちの由来・鏡もち作り～	4歳児
1月	みかんの足湯	2歳児
1月	七草のお話	3歳児
1月	手作りおみそで味噌汁を作ろう	4歳児
2月	ばんばん持ちの練習	2歳児
2月	野菜と仲良くなろう～おやさいバス～	0歳児
2月	冬野菜と仲良くなろう	1歳児
2月	パフェ作り	4歳児
2月	絵本給食：ねこさんスパゲッティ	2歳児・3歳児
2月	世界にはどんな国がある？～日本とネパール～	5歳児
2月	卒園クッキング会議	5歳児
3月	ラッシー作り	1歳児
3月	フルーツゼリー作り	2歳児
3月	いろんなお野菜食べられるかな？	3歳児
3月	いちごアイス作り	4歳児
3月	3色食品群のお話	5歳児

3月	卒園クッキング ポップコーン作り	5歳児
3月	クッキーのかた抜き	5歳児

【今年度の反省と次年度の課題】

今年度目標の達成度は7割程度だった。開園3年目となった令和4年度は、2年目に行った活動内容を概ね踏襲しつつ、よりブラッシュアップさせること、また単に継続させるのではなく子どもたちのつばやきやその時の興味関心あるいは担任の思いをすくいあげた活動を設定することを念頭においた。内容も、楽しんで終わるだけでなく、その年齢や発達段階に必要と思われる活動や、幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿をみすえた見通しをもった活動内容にすることを目標に設定するよう努めた。しかし、保護者満足アンケートで、給食に関する3項目について昨年度より5段階評価の5をいただく割合が低下してしまった。コロナ禍による制限や、食材料費等の高騰などが原因として考えられる。次年度は、今年度の目標を概ね踏襲しつつ、給食および食育活動の質の向上を図っていく。

√防災・避難訓練実施

《避難・消火訓練》 ◎消火訓練は毎月1回2名ずつ実施

月	日 (曜日)	訓練のねらい	時間	想定	避難経路・集結場所	参加人数	
						園児	職員(給食室)
4	26(火)	避難訓練の目的を知る 地震訓練時の約束事を知る	10時00分	地震	保育士の側に集まる 落下物の恐れのない安全な場所へ避難する	53	17(2)
5	25(火)	災害の違いで、避難の仕方が変わることを知る 火災避難時の約束事を知る	9時45分	火災	くりおね組→玄関より園駐車場へ 他クラス→非常階段を通過して園駐車場へ	56	16(3)
6	28(火)	地震による災害から身を守る	9時45分	地震	保育士の側に集まる 落下物の少ない安全な場所に避難する	54	14(3)
7	14(木)	浸水害時の避難の仕方を知る 浸水害避難時の約束事を知る	10時00分	浸水害 訓練	園内の階段を上がってまんぼう組の壁沿いに集まる	55	16(3)
7	26(火)	地震による災害から身を守る	14時45分	地震	落下物の恐れのない安全な場所へ避難する		※新型コロナウイルス感染症拡大のため休園となり中止
8	23(火)	約束事を再確認し、玩具に気を取られないで避難する	16時00分	火災 (近隣火災)	各クラス安全な場所に避難する、0歳児は玄関から園駐車場へ、1～5歳児は非常階段を使用して園駐車場へ	43	13(1)
9	27(火)	地震から火災が起きることや避難の仕方を知る 第一次避難場所を知る 実際の消火及び通報の訓練 【総合避難訓練】	9時45分	地震からの 火災	各クラス安全な場所へ避難。その後0歳児は玄関から駐車場へ、1～5歳児は非常階段を通過して園駐車場へ、人数確認後3クラスごとに榴岡3丁目東公園へ向かう	48	16(4)
10	25(火)	活動先、散歩時での避難の仕方を知る {園外対応訓練}	10時00分	地震	0歳児 保育室 2歳児 園庭 他、散歩先の公園	49	17(4)
11	25(火)	保育士の指示に従い 延長保育時の避難の仕方を知る	18時30分	地震	落下物の恐れのない安全な場所へ避難する	3	3(0)
12	27(火)	突然の事態になっても慌てずに避難する	7時30分	地震	落下物の恐れのない安全な場所へ避難する	5	4(0)
1	24(火)	保育士の指示の元、自分の身を守り安全に避難する	15時30分	地震	落下物の恐れのない安全な場所へ避難する	53	17(4)
2	21(火)	保育士の指示を聞き、約束事を守って、慌てずに落ち着いて避難する	9時30分	火災 (近隣火災)	くりおね組は玄関より園駐車場へ、他クラスは園内の階段を下りて園駐車場へ避難する	55	14(3)
3	22(火)	1年間の避難訓練を振り返り、自然災害の危険性を知る 保育士の指示に従い、落ち着いて避難する	10時00分	地震 火災	日頃の訓練を活かし、どこにいても素早く子どもを把握し、安全に避難する 非常階段または玄関から園駐車場へ避難する	54	16(3)

○一年間を通して、訓練の必要性や災害の違いによって避難の仕方が変わることを、分かりやすく子ども達に伝えていった。

※時間帯については上記時間帯を目安としながらも伝えずに実施することもあった。



《不審者侵入訓練実施》

月	日 (曜日)	訓練のねらい	時間	想定	避難経路 集結場所	参加人数	
						園児	職員(給食室)
8	17 (水)	・不審者が侵入した際に、保育者が適切な対応をできるようにする	16時00分	保護者と共に玄関から侵入	各クラス、保育室の死角となる場所に避難する	35	13(2)
1	19 (木)	・第一発見地点で不審者を引き止められなかった場合の対応について、適切に対処できるようにする ・廊下にいる子ども達を適切に誘導する	10時00分	保護者と共に玄関から侵入 そのまま、らっこ組に侵入しようとする	園内の放送合図とともに子ども達を速やかに死角となる場所へ誘導する 放送より先に異変に気付いた保育士は速やかに保育室へ子ども達を誘導する	45	15(3)

vi職員配置

施設長	1人
主任保育士	1人
保育士	17人 (常勤：15人 非常勤：2人)
栄養士	1人 (常勤：1人)
看護師	2人 (非常勤：2人)
嘱託医	1人
嘱託歯科医	1人